

実施教員	所 属	社会福祉子ども学科
	職・氏名	教授 梅崎 薫

テーマ	修復的対話の会を体験しよう！		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	「地域から誰も排除しない」ということを大切にする修復的正義について学び、相手を非難せず傾聴し、対話する修復的対話の体験を通して、お互いを尊重するというのは、どのようなことなのかを考えます。		
授業内容の要旨	輪になって座り、進行役(キーパー：梅崎)がトーキング・ピースという順番に話すツールを用いて対話を進行します。自己紹介から対話を開始して、「尊重とは、どういうことか」「自分は何を大切にしているのか」などをテーマに自由に話し合います。修復的対話により、お互いの違いや考え方の違いに気づき、理解を深め、異なる考え方の人ともお互いに尊重して対話するというのは、どういうことなのかを考えます。		
授業形態	講義	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習
対象人数	進行役ひとりに対して、20人程度		
必要機材	プロジェクター	スクリーン	パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他( )	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
実施に当たっての その他留意事項等	<p>トーキング・ピース、センターなどの道具を用います(持参します)。進行役(キーパー)ひとりに対して、参加者20人を超えると傾聴する時間が長くなるので、傾聴に集中し続けることが難しくなります。</p> <p>進行役(キーパー：梅崎)の他にキーパーを確保できれば、もっと多くの参加者と対話することができます(必要があれば紹介します)。また、先生方に進行役(キーパー)になる研修を事前に実施して、一緒に対話の会を進行していただくこともできます。</p>		